

# プラネタリウム活用授業

平成18年4月19日（水） 午前9：30～午前10：20  
すさみ町立江住中学校1年生7名・2年生5名

4月19日、江住中学校の1・2年生が、プラネタリウムを活用して「四季の星空」の学習を行いました。プラネタリウムを見ながら、代表的な四季の星座や1日の星の動き（今夜の場合）の学習を行いました。生徒たちからは、もっといろいろの星を見たいとの声があがり、オーストラリア・赤道・北極での星の動きも学習しました。星の動きが実感でき、星の動きの規則性を感動を持って学習することができました。



星座についての説明

プラネタリウムで、日本の太陽観測衛星『ようこう』が捉えた太陽コロナの姿やコロナから高エネルギーの粒子がまき散らかされている姿、1054年に爆発した星の名残であるカニ星雲とカニ星雲のパルサー周辺にある大きなガス円盤、その中心から噴出している激しいジェットの様などをまのあたりにした生徒たちは、授業終了後、「いろいろな星や星座の名前を知ることができたし、北半

球と南半球とでは星の動きが逆になることがわかって良かった。」と感想を出しあっていました。中には、カニ星雲のガス円盤の中心から噴出しているジェットの映像に感動した生徒もいました。

プラネタリウムの紹介は教育センター学びの丘のホームページで公開しています。

<http://www.wakayama-edc.big-u.jp/kankyopl.html>



プラネタリウム上映